



清泉大学文化学科 3 年

×

須坂市役所「蔵の町並みキャンパス事業」

須坂市の縁の下の力持ちに注目！

NADEC

株式会社ナディック



株式会社ナディックHP

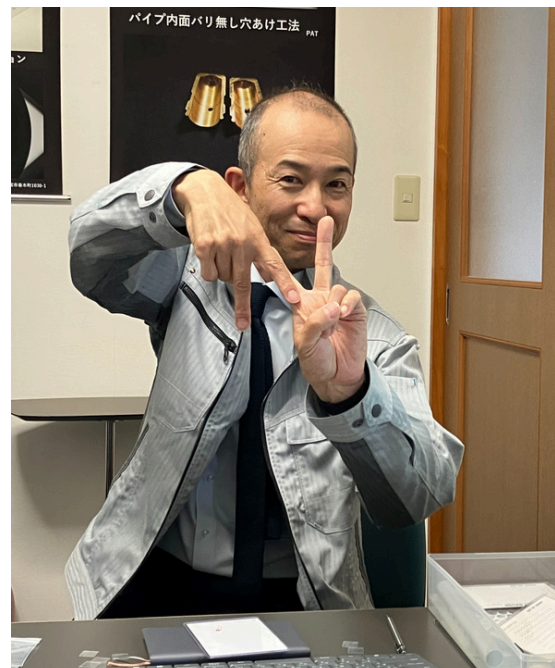


社長・会社といえは飲み会や花見。ナディックではみんなランチに行きます。旅行の積み立てもしますが旅行に行かず、後で社員に返金してしまいます。お金が返ってくる、なんか嬉しいでしょ？

ナディックで大切にしているのは発想の転換。例えば性格のひねくれた人。その人のその発想でしかできないことがあるんです。そのうやうや生かしたほうが面白いものができます。ひねくれてるからこそ面白いアイディア。新たな発見や発明が生まれます。

例えば、文系の人は理系の人にはない魅力があります。コミュニケーションが得意な文系の人ならば、電話やお客様対応でそのスキルを発揮できます。もちろん、理系の知識を身に着的けることは必要です。しかし、実際に全く違う文系分野にいた人が今はナディックで働いていま

・ナディックあれこれ



株式会社ナディック 上野栄一 社長

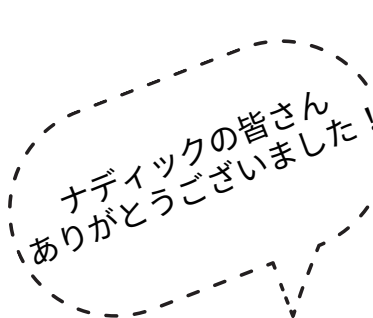
〒382-0911
長野県須坂市大字須坂1030-1

○趣味

「あいみょん」などのライブに行くこと。
スノーボード、BMXも始めました。

○インタビュー小話

写真撮影の際にポーズをお願いしたところ、快く即興でナディックの「N」を作ってくださいました！



社長・よく、人間性の話が就職活動では言われますが、会社の言う人間性とは、仕事ができるよりもちよとした気の使える人。時間が空いた時に「手が空いているので、できることがあればやりますよ。」と言える人のことだと思っています。

基本的な教育も普段身につけるような常識の範囲は、日常の中で身につくため、ナディックでは特にしません。

学生の皆さんはコロナを経験している世代なので、そうした経験はとても重要です。色々な経験、今やっていることに自信を持つてください。私たちとは経験していることが違うので、私たちとは違う考え方があはるはず。そうした発想と今しかできない経験を大事にしてください！

・就活生へのメッセージ

社長・ナディックは小さな会社ですが、作っている部品は身近なカメラや車の中に使われている。主な仕事ツールはキヤードという設計に使うシステムです。また、お客様との商談から納品まで一貫して、一人の社員で担当します。最後までお客様と直接お話しできるのです。自分の仕事としてやりがいには繋がっています。なので、納品が終わりればその儲けもわかります。そうした部分で色々な人と関わります。そうした部分で仕事に面白さが出てきます。さらに、自分の仕事を自分で管理するという点では、自分の時間をやりやすいです。

また、独自の製品として、ナディックでは世界で一番小さな定規を作っています。(下の写真参照)

この定規は、手術の際に血管の太さなどを見るために、世界一小さな針と共に使われています。メモリは肉眼では見えないうほど細かくできています！



編集後記

今回のインタビューを通して、特に印象に残ったのは、社長が語ってくださった「仕事ができるかどうかよりも、コミュニケーションやちょっとした気遣い、人間性の方が大切」という言葉でした。つい業務のスキルや成果にばかり目が向きがちですが、信頼関係や職場の雰囲気をつくるのは、そうした日々の小さなやりとりや、人としてのあり方なのだと気づかされました。この言葉は、これから社会に出て働いていくうえで、ずっと心に留めておきたい学びとなりました。